

2025年度

日本学生支援機構奨学金 説明資料

大学院生 貸与奨学金申込用 ＜定期一次採用＞

※ 申込にあたっては配布資料のほか、右記二次元コードから「貸与奨学金案内（大学院）」を必ず確認してください（以下、「案内〇ページ」は本資料を確認してください）。



2025年4月

琉球大学 学生部 学生支援課 奨学金担当

大学院生の奨学金申込みについて（留意点）

【貸与奨学金】

日本学生支援機構（以下「機構」といいます。）の貸与奨学金は、勉学への意欲と能力のある学生が、経済的な理由により修学を諦めることのないよう支援することを目的とした国による制度です。

貸与奨学金は返還義務があります。返還された奨学金は、後輩学生の奨学金に活用される仕組みとなっています。

【学部生の奨学金との相違点】

- (1) 「家計基準」は、父母等の所得情報ではなく申請者本人と配偶者の所得情報を基準とします。
- (2) 特別控除の制度はありません。
- (3) 長期履修生として研究科で認められた学生は、貸与期間を確認しますのでお申し出ください。
- (4) 業績優秀者返還免除制度

大学院第一種奨学生及び授業料後払い制度利用者は、在学中に優れた業績を挙げた場合に返還額の全額又は半額が免除される制度があります。詳細は学生生活支援情報ホームページ奨学金「**⑮業績優秀者返還免除**」をご確認ください（博士課程の学生は、採用後に「返還免除内定制度」もあります）。

【留意事項】

(1) 提出書類は「期限厳守」

機構への推薦手続の日程上、募集開始から申込書類の提出（受付）までの期間が非常に短くなっています。必要な証明書類は早めに取り寄せてください（特に県外出身者は留意）。

(2) 「個人情報情報の取扱いについて」

機構は「個人情報情報機関」に加盟しており、奨学金申込時に「個人情報」の登録・提供に同意する必要があります。奨学金の返還を延滞した場合は、個人情報「個人情報情報機関」に提供・登録されたクレジットカードの利用停止や融資が受けられなくなります。また、延滞が長引く場合は法的措置が取られます。

(3) 機構の奨学金は日本人学生が対象

外国籍の方は、在留資格によって申込資格がある場合があります。在留資格の記載がある書類を学生支援課の奨学金窓口へ提示し、申込資格を満たしているか確認してください。

外国人留学生対象の奨学金は、国際教育課で担当しています。

(4) 大学からの呼び出し（電話等）には必ず応じること

奨学生に採用された者は、奨学金に関する説明会に参加し、毎年度義務づけられた必要な手続・書類の提出等を速やかに行ってください。これを怠ることで奨学生の資格を失い、受け取った奨学金の返還を請求される場合があります。

また、大学のホームページや掲示板を普段から確認し、大学からの呼び出し（電話、メール等）には必ず応じてください。

＜お問い合わせ＞ 琉球大学 学生部学生支援課奨学金担当（共通教育棟1号館1階）
〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL：098-895-8136（平日8:30～12:00、13:00～17:15）

＜奨学金に関する情報＞

琉球大学学生生活支援情報ホームページ

日本学生支援機構ホームページ



奨学金の申込手続き

1. 配付資料

- (1) 「2025年度 在学者用 ダイジェスト」(機構作成)
- (2) 「2025年度 スカラネット下書き用紙(大学院・法科大学院用)」(機構作成)
- (3) 「2025年度 日本学生支援機構奨学金説明資料 大学院生(貸与奨学金申込用)」(本冊子)

2. 奨学金の概要

(1) 貸与月額等(案内6ページ~参照)

第一種奨学金(無利子)、第二種奨学金(有利子)、授業料後払い制度

※ 第二種の金利は、「利率固定方式」又は「利率見直し方式」のいずれかを選択してください。

授業料後払い制度は第一種奨学金と同時に受け取ることはできません。

(2) 申込区分

スカラネット入力下書き用紙4ページの「STEP3-②奨学金申込情報」参照(案内26ページ参照)。

※ 第一種及び第二種の両方を受ける場合(併用貸与)は、返還総額が多額となるので慎重にご検討ください。

(3) 入学時特別増額(有利子貸付)(案内10, 28ページ参照)

日本政策金融公庫の「国の教育ローン」に申し込んだが、低所得等を理由に利用できなかった世帯の学生に貸与することを目的とした制度です。国の教育ローンの要件を満たさず、申し込みができなかった場合は利用できません。

(4) 奨学金の申込条件

① 過去に他の大学院に在籍し機構奨学金の貸与を受けた者が再度入学した場合、希望する奨学金は貸与期間に一定の制限があります。詳細はお問い合わせください。

② 現在、留年中の者は申込み資格がありません。

(5) 家計基準(案内10ページ参照)

申込者本人及び配偶者の2023年(1月1日~12月31日)の収入に基づく2024年度住民税情報。

3. 申込み手順

(1) 申込書類の作成等

次頁「5. 申込書類一覧」参照。併用申込希望者は給付奨学金に係る書類も準備

(2) スカラネット（インターネット）入力

下記二次元コードからスカラネットへアクセス



「識別番号（ユーザーID・パスワード）」を使用し、申込者自身がスカラネットを入力

- ① 入力時に迷わないように「スカラネット入力下書き用紙（給付・貸与共通）を記入（入力時間に制限あり）
- ② 入力完了時に「受付番号」が表示されるので、「スカラネット入力下書き用紙」に転記
※（3）申込書類の提出の前に（4）マイナンバー提出を済ませても問題ありませんが、翌営業日までに（3）申込書類の提出をしてください。「4. 提出期限・提出先」まで提出がない場合は申請取り下げになります。

(3) 申込書類の提出

学生部学生支援課奨学金担当（本ページ下部参照）

※提出期限最終日は混雑。準備できた者は期限を待たずに提出

(4) マイナンバー提出（インターネット入力）

スカラネット申込完了後に入れるようになるマイナンバー提出専用サイトにログインしてマイナンバーを提出する（案内 38～42 ページ）。

(5) 奨学金確認書兼地方税同意書の提出

専用封筒に入れ、機構へ簡易書留で郵送（（4）マイナンバー提出後、1週間以内に提出）
給付と貸与の併用申込の場合も「奨学金確認書兼地方税同意書のセット」は1部で結構です。

(6) 入力・提出内容の不備の解消（該当者のみ）

学生部学生支援課奨学金担当において入力内容、提出書類を確認。
内容に確認が必要な場合や不備があれば電話又はメールで学生に連絡。不備を解消する。
※連絡には必ず対応すること。対応しない場合は、申請取り下げになります。

(7) 大学から追加の提出書類の指示

事情に応じて、収入に関する証明書類の提出を求める場合があります。

4. 提出期限・提出先

- (1) 提出期間 2025年4月9日(水)～4月23日(水) 厳守
- (2) 提出時間 平日 8:30～17:00 (12:00～13:00 を除く)
- (3) 提出先 琉球大学 学生部学生支援課奨学金担当 (共通教育棟1号館1階) 窓口横の提出BOX
〒903-0129 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL : 098-895-8136

※ 全ての書類が揃っていない場合でも、提出期限までに提出できる書類を提出してください
(不備書類の提出期限は改めて設定。**事前連絡なく遅れた場合は受付しません**)。

※ 提出期限最終日は多くの者が提出するため確認に時間を要します。また、**不備や書類の不足があると申請に間に合いません**。**準備ができた方は期限を待たずに提出**してください。

5. 申込書類一覧

申込に必要な書類は、下記表及び貸与奨学金案内(大学院)を参考に十分に確認してください。
「スカラネット(インターネット)入力」→「申込書類の提出(大学窓口)」→「マイナンバー提出(インターネット入力)」→「奨学金確認書兼地方税同意書の提出」(→「不備の解消」)で申込完了となります。

No	申込書類	備考
1	奨学金申請用チェックシート	全員提出
2	奨学金を振込む口座(本人名義)の通帳の写し	全員提出 ※ 銀行名・番号, 支店名・番号, 口座番号, 名義が確認できる箇所
3	レターパックライト430(青色) (結果通知等の送付用)	全員提出(郵便局又は生協2階で購入) ※「お届け先」に自分の住所・氏名等を記入
4	貸与中又は過去に借りた日本学生支援機構奨学金の奨学生証等の写し	該当者のみ ※ 奨学生番号が記載されている書類(奨学生証や返還確認票等)
5	地方創生枠推薦決定通知の写し	該当者のみ ※ 地方創生枠基金団体から推薦された者
6	マイナンバーに代わる提出書類 ※ 学校担当者に事前相談必須	該当者のみ ・マイナンバー情報提供を拒否する者 ・2024年1月1日時点で日本国内に住んでいない者

6. 採用決定通知

採用決定の連絡は、7月中旬頃に大学メール(kxxxx@cs.u-ryukyu.ac.jp)又は郵送でお知らせします。大学メールを「通常利用しているメール」に転送設定する等して、案内を見逃さないようにしてください。

7. 返還誓約書に係る入力項目について

【重要】返還誓約書とは

奨学金は貸与ですので、皆さん自身が責任を持って確実に返還することを約束するための書類として「返還誓約書」があります。奨学生として採用後は必ず提出しなければなりません。「返還誓約書」は採用後に配付します。採用後、期限までに提出しない場合は振込済額を全額返済したうえで奨学生の採用が取り消されます（案内 54 ページ参照）。

申込時のスカラネットに入力した内容を元に、採用後に配付する「返還誓約書」のデータ（記載内容）が作成されます。入力内容に誤りがないよう事前に入力項目を確認し、「スカラネット下書き用紙」に記入したうえで入力してください。

<「返還誓約書」関連項目の記入・入力の注意点>

(1) 保証制度（案内 18 ページ～参照）

「保証制度」は次の二種類のうち、いずれかを選択してください。

人的保証	連帯保証人及び保証人を選任。奨学生本人が返還できない場合に代わって返還します。
機関保証	「人的保証」に代えて保証機関に依頼します。毎月の奨学金から保証料の支払いが必要です。

※ 「人的保証」を選択する場合は、連帯保証人及び保証人に借用予定金額を提示して事前に承諾を得てください。

※ 連帯保証人及び保証人を受け取ってもらえない場合は、「機関保証」を選択してください。

※ 採用後は、保証人等又は保証制度の変更（機関保証から人的保証）は認められません。

※ 授業料後払い制度を希望する場合は必ず機関保証になります。

(2) 人的保証を選択する場合

連帯保証人又は保証人に選任できるのは次の方です。

連帯保証人	<p>父又は母</p> <p>※ 父母がいない場合は、「兄弟」、「おじ・おば」等の 4 親等以内の親族</p> <p>※ 奨学生が貸与終了時に満 45 歳を超える場合は、貸与終了時に 60 歳未満</p>	<p><選任できない方></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 未成年者 ○ 学生 ○ 本人の配偶者 ○ 破産・債務整理中の者
保証人	<p>父母を除く 4 親等以内の親族で、本人・連帯保証人と別生計の者（採用時 65 歳未満）</p> <p>※ 奨学生が貸与終了時に満 45 歳を超える場合は、貸与終了時に 60 歳未満</p>	

※ 連帯保証人及び保証人の住所は、印鑑登録証明書に記載された住所を入力すること。

※ 人的保証を選択された場合、採用後に返還誓約書を提出する際に連帯保証人及び保証人の「印鑑登録証明書」、連帯保証人の収入に関する証明書の提出が必要になります。

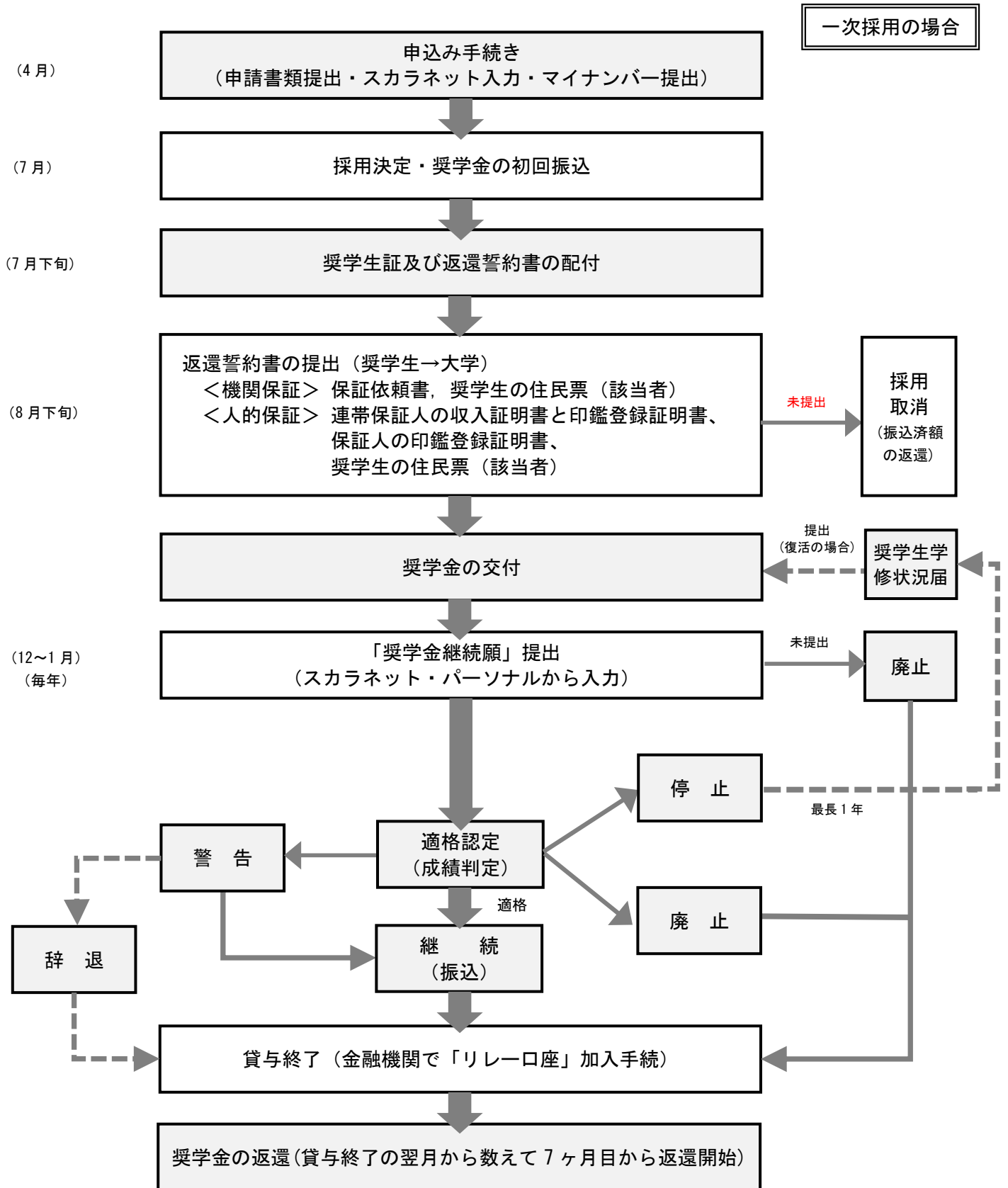
※ 基本的な条件から外れる者を選任する場合は、収入条件を満たす者に限ります。（案内 19、20 ページ参照）

(3) 機関保証を選択する場合（案内 23、24 ページ～参照）

本人以外の連絡先

例) 父又は母の連絡先を記入（住民票住所とその郵便番号を事前に確認）

奨学金申込みから採用，貸与終了までの流れ



※ 大切な手続きに関する情報は、大学のホームページや掲示板、個人宛大学メール (kxxxx@cs.u-ryukyu.ac.jp) でお知らせします。
 ※ 重要な情報を見落とし必要な手続を取らない場合は、奨学生の資格を失いますことにご留意ください。

大学院奨学金申請者学業成績確認票

(2025 年度)

<申請者記入欄>

1. 申請者氏名			
2. 学籍番号			
3. 年 次	年 次		
4. 研究科名	研究科	専攻	
5. 学 種	<input type="checkbox"/> 修士・博士前期	<input type="checkbox"/> 博士・博士後期	<input type="checkbox"/> 専門職大学院

..... 以下、申請者は記入不要

<大学院記入欄>

6. 学 力 ※ (1)及び(3)の該当する□に☑してください。

上記の者について

(1) {	<input type="checkbox"/> 大学の学業成績	の学力を (3) {	<input type="checkbox"/> 第一種奨学金	と認めます。
	<input type="checkbox"/> 大学院入学試験等の成績 により、(2)		<input type="checkbox"/> 第二種奨学金	
	<input type="checkbox"/> 大学院の学業成績		<input type="checkbox"/> 適	
			<input type="checkbox"/> 不適	

(「6. 学力」確認時参考) 日本学生支援機構の学力基準

区 分	第一種又は併用 (一種と二種の両方)	第二種
専 門 職 学 位 課 程 修 士 ・ 博 士 前 期 課 程	大学等・大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動できると認められること。	①又は②のいずれかに該当すること。 ①大学等・大学院における成績が優れ、将来、研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動できると認められること。 ②大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。
(医学研究科を含む) 博 士 ・ 博 士 後 期 課 程	大学・大学院における成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動できると認められること。	①又は②のいずれかに該当すること。 ①大学・大学院における成績が優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を備えて活動できると認められること。 ②大学院における学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると認められること。

申請者 チェック欄	確 認 事 項	大 学 記 入 欄
<input type="checkbox"/>	<p>【スカラネット入力：スカラネット下書き用紙 P4】（案内 26 ページ参照） 奨学金の申込として第一種のみ・併用のみとして希望する者は回答してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一希望が落ちた場合、奨学金がなくても学業生活に支障がある。 <input type="checkbox"/>はい <input type="checkbox"/>いいえ ・上記で「はい」を選択した者は、第二・第三希望まで選択してください。 <p>（入力例 1）第一種（無利子）希望だが奨学金がないと不安 → 「a-(2)：第一種不採用なら第二種希望」</p> <p>（入力例 2）大きい金額の貸与が必要 → 「b-(7)：併用希望だが不採用なら第二種希望」 ※b-(6)の場合は、 第一種（最高月額不可）の金額で採用になる可能性があります。</p>	
<input type="checkbox"/>	<p>【スカラネット入力：スカラネット下書き用紙 P8-機関保証】 (返還終了までの間に)本人と連絡が繋がらない場合、連絡が取れる者を選任していますか。</p>	
<input type="checkbox"/>	<p>【スカラネット入力：スカラネット下書き用紙 P8-人的保証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「連帯保証人」は、原則父母を選任していますか。 <p>※ 事情により父母が選任できない場合は、奨学金担当へご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保証人」は、父母を除く 4 親等以内（おじ、おば、別生計の兄弟姉妹）かつ 65 才未満の者（申請者が 45 歳以上の場合は 60 歳未満）を選任していますか。 <p>※ 4 親等以外若しくは 65 歳以上を選任する場合は、以下の条件を 1 つ以上満たしているか確認し、満たす条件にチェックを入れてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>給 与 所 得 者：年間収入金額 ≥ 320 万円 <input type="checkbox"/>給与所得者以外：年間所得金額 ≥ 220 万円 <input type="checkbox"/>預貯金残高 ≥ 貸与総額の 1/2 以上 <input type="checkbox"/>固定資産の評価額 ≥ 貸与予定総額の 1/2 以上 	
<input type="checkbox"/>	<p>【スカラネット入力：スカラネット下書き P11-家庭事情情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併用貸与で第二種奨学金の最高月額を選択した人は、「最高月額を必要とする理由」を入力しましたか。※併用採用後、第二種の金額を下げる場合も記入が必要です。 	
<input type="checkbox"/>	<p>【スカラネット入力：スカラネット下書き P12-公金受取口座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「希望します」を選択すると、マイナンバー情報から確認した「公金受取口座」に奨学金が振り込まれます。 ・公金受取口座による振り込みを希望しない場合は、「希望しません」を選択してください。なお、<u>公金受取口座と今回登録する口座が同一の場合も「希望しません」を選択してください（口座が同一であっても、口座情報をスカラネットに登録（「⑩奨学金振込口座情報の 2」を入力）。</u> <p><input type="checkbox"/> 承知した</p>	

2. 準備物等の確認

申請者 チェック欄	提出書類 の種類	確 認 事 項	大 学 記入欄
<input type="checkbox"/>	確認書兼個人信用情報に関する同意書	<ul style="list-style-type: none"> ・課程の欄は、修士課程/博士前期課程・博士課程/博士後期課程・専門職学位課程（法務研究科・教育学研究科）を記入 ・黒ボールペン使用（鉛筆書きや消せるボールペンの使用不可） ・住所は現住所（沖縄の住所を記載） 	
<input type="checkbox"/>	大学院奨学金申請者学業成績確認票 (大学院様式 1)	<p>「1. 申請者氏名」, 「2. 学籍番号」, 「3. 年次」, 「4. 研究科名」及び「5. 学種」を記入して提出してください。</p> <p>※「6. 学力」は記入不要で、指導教員への確認も不要です。</p>	
<input type="checkbox"/>	通帳の写し	本人名義の通帳(写)に銀行名、店名、口座番号、名義が記載されていますか。	
<input type="checkbox"/>	レターパック ライト	お届け先（上の箇所）に本人の住所・氏名等を記入 ※追跡シールは剥がさないでください。	
<input type="checkbox"/>	機構奨学生証（写） (該当者のみ)	<p>現在貸与中又は過去に借りていた奨学生番号が分かるものを準備してください。</p> <p>「奨学生証書」, 「返還確認票」, 「貸与額通知書」, 「スカネット・パーソナル（詳細情報画面）」 ※ 過去に他大学で奨学金を貸与していた場合は、再貸与の適用可否を確認しますのでお知らせください</p>	
<input type="checkbox"/>	進学前離職の特例措置に係る証明書提出用紙	<p>【新入生対象】申請者本人が2023年の収入により課税されていた者が進学前には退職・休職していた場合、「進学前離職特例処置」を提出することで無収入として申請することが可能です。希望する者は、「進学前離職特例処置」の様式と以下の書類を準備してください。(案内 32, 33 ページ参照)</p>	
<input type="checkbox"/>	進学前離職特例措置 (該当者のみ) 右記のいずれか	会社発行の離職（退職）証明書	
<input type="checkbox"/>		雇用保険被保険者離職票（写し）	
<input type="checkbox"/>		雇用保険受給資格者証（写し）	
<input type="checkbox"/>		退職（離職）日の記載がある源泉徴収票（写し）	
<input type="checkbox"/>		休職日の記載がある休職証明書（無給であることがわかるもの）	